



うめがおか

考える子 元気な子 助け合う子

世帯数配布
美浜町立河和小学校
学校だより
令和5年9月1日

充実した2学期に

～それぞれの良さを生かして～

今年の夏も猛暑や豪雨など心配なことが多くありましたが、大きな事故や怪我の報告もなく安堵しております。これも保護者や地域の皆様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。

さて、今日から2学期が始まります。一番長い学期です。子どもたちには、自分がワクワクすること、好き、楽しいと思えることを新たに見つけ、「一人でできる」「みんなでできる」を増やし、充実した2学期にしてほしいと思っています。始業式では、「自分と人を大切にする」をキーワードに、「一人でできる」「みんなでできる」を増やす



ために三つ提案をしました。一つ目は、自分でまずやってみることに続けてやってみることに。二つ目は、困った時に「教えてください」「助けてください」と素直にお願いすること。三つ目は、「みんな一緒」と考えすぎないこと。特に三つ目は、具体例（以下）を伝え、「みんなでできる」のポイントは、「一人一人がそれぞれの良さを出し切ること」「みんながやる気になる雰囲気をつくること」が大切だと提案しました。

2学期は運動会や学習発表会もあります。みんなと同じ目標に向かって頑張ることで得られる達成感大切です。一方、「みんな一緒」と考えすぎると苦しくなる子もいます。何より大事なことは、自分も人も大切に、それぞれの良さを伸ばしていくことだと思っています。ご家庭においても話題にしたいいただけると幸いです。

2学期も教職員一同、子どもたちのそれぞれの良さを引き出せるよう努めてまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

〈「『みんな一緒』と考えすぎない」について〉

一人一人できることとできないことが違うのに、みんな一緒でないとだめだと思ってしまったらどうなるでしょう。例えば、「みんな50メートルを9秒で走ろう」と言われたら、9秒では走りきれないという子も、もっと速く走ることができる子も、なんだかやる気がなくないませんか？また、1学期の終業式で紹介した「みんなでできる」に「クラスの合唱でお互いの声を聴き合ってうまく歌えた」がありました。きっと、「お互いの声を聴く」の「聴き方」も「うまく歌えた」の「歌い方」も一人一人違っていたと思います。全体としてお互いの声を聴き合ってうまく歌えたと思えたのは、クラスのみんなが、それぞれの良さを出し切ったからだだと思います。歌うことが苦手な子も歌いたくなる雰囲気があったからではないでしょうか。

10月の行事予定			掃除
9/29	金	5時間授業 1～4年 ⑥運動会準備 5・6年	／
30	土	運動会 弁当 13:30下校（運動会実施、延期問わず）	／
10/ 1	日		
2	月	運動会 代休	
3	火	運動会 予備日 給食 14:45下校（運動会実施、授業日問わず）	○
4	水		○
5	木	5時間授業	／
6	金	5時間授業	／
7	土		
8	日		
9	月	スポーツの日	
10	火		○
11	水		○
12	木	小委員会Ⅲ	○
13	金		○
14	土		
15	日		
16	月	オンライン朝会⑤	／
17	火	交通教室(5、6年)	○
18	水		○
19	木	代表委員会⑤	○
20	金		○
21	土		
22	日		
23	月		／
24	火		○
25	水		○
26	木	町陸上大会	○
27	金	⑤火災避難訓練	○
28	土		
29	日		
30	月	⑥クラブ(4～6年)	／
31	火		○

今後の状況により変更することがあります

避難所運営訓練

7月31日（月）に本校体育館にて「避難所開設訓練」が実施されました。役場、小中学校、保育所、各区の代表など地域の様々な立場や団体の方々が参加し、「河和小学校に避難所が開設された」ことを想定して訓練が行われました。去る6月2日の大雨の日（偶然にも風水害の避難訓練日でした）には河和小の体育館に避難所が開設されていました。

訓練の内容は、避難所開設時の受付や避難ルームの設置、ボックストイレや段ボールベッドの組み立てなどが行われました。

配付された資料には「初動における対応は職員、施設管理者等が対応していきますが、逐次、避難所運営を避難してきた地域住民及び自主防災組織の自主、自立に移行していきます」と記載されています。「被災した避難民として支援を享受したい」状況下においても「自分たちで避難所を運営する意識」をもつことになり、「自分と人を大切にする」言動が求められます。



少年消防クラブ員 県消防学校一日入校

8月8日（火）に6年生の代表児童6名が「少年消防クラブ員」として、「愛知県消防学校」に一日入校として体験活動を行ってきました。美浜町と南知多町の各小学校の代表が参加しました。「愛知県消防学校」は尾張旭市にあり、愛知県内の市町村（名古屋市を除く）の消防職団員や自衛防災組織員等に対し、消防防災に関する教育訓練を行う施設です。

当日は、煙道・地震体験（煙の充満した建物内での避難、起震体験装置による建物内での地震体験と対処法）、救急体験（心肺蘇生における胸骨圧迫方法やAEDの使用法）、「ロープ結索体験（「本結び」や「ふたえつなぎ結び」など災害活動や人命救助活動で役立つロープの結び方）、規律体験（隊員の整列や敬礼などの礼式）、放水体験（消防ホースを使った放水）など多岐にわたり、かなり本格的な内容でした。学校の代表として「助け合いながら防火・防災意識の向上」を図る機会となりました。



全校出校日

7月20日（木）の「終業式」から32日後の8月21日（月）は「全校出校日」でした。「連日の猛暑」が報じられる中、児童も様々な「思い」をもっていたかとは想像しますが、いつもと変わらない登校風景でした。教室では、久々に顔を合わせる級友と談笑する様子が見られたり、夏休みの課題の解答の配付や各作品募集の記名の確認などが行われたりしました。

「今の自分にあわせて、内容や計画を立てて実施する」夏休みの課題に対して、やる気をもって計画以上の成果を上げた人も、中には計画を変更しながら行った人も「課題を自分事として考える」ことで、自分の成長に繋げることができたと思います。



スポーツリズムトレーニング

8月21日（月）の全校出校日終了後、先生を対象に「スポーツリズムトレーニング講座」が行われました。講師の6年2組担任門田夏希先生から説明や助言を受け、スピーカーから流れる音楽のリズムに合わせて体育館の床のラインを規準に様々なステップやジャンプ、手拍子をしながら進む動きに挑戦しました。軽やかに動きを体現できる先生、なかなかリズムと体の動きが合わない先生など様々でしたが、適度な運動量で楽しく体を動かすことができたと実感しました。

スポーツリズムトレーニングは「リズム感」を高めることで運動能力を向上させたり、ケガの予防効果を高めたりするなど、プロのスポーツ選手も活用している新しいトレーニングプログラムです。学年や個々の体力に合わせて「元気に運動ができる」ように、体育の授業の準備運動やレクリエーションとして取り入れていきたいと考えています。

